

先んずれば人を制す、後るれば則ち人の制する所と為る

# 先見経済

清話会 since 1938

戦前の昭和13年から続く日本を愛する企業経営者の羅針盤

愛知淑徳大学教授  
真田幸光

## 2024年の世界情勢と経済

金融・株式・経済ジャーナリスト

千葉 明

IPO（新規公開株）投資で  
将来の優良成長株に出会う

NPO 法人健康笑い塾(r)主宰

中井宏次

感動経営と笑い～そこまでやるか

『先見経済』編集長

佐々木俊弥

YouTubeで見る世界のリアル

好評発売中 社員必携の一冊

2024年度版『社員ハンドブック』

2024年  
令和6年

2



# 感動経営と笑い 〜そこまでやるか

ストレスとは？ こころが笑うとは？  
笑いの3大効果

NPO法人健康笑い塾®主宰

中井 宏次



大阪薬科大学（現：大阪医科大学）卒業。製薬会社入社、秘書室長・学術研修部長・支店長等を務める。50歳の時ガンを患い、笑いは免疫力を上げることに気づき「笑いで社会貢献を」と一念発起、2007年会社を退社し「NPO法人健康笑い塾」設立。岡山大学で非常勤講師として「人間学講座」を担当。

「こころで見なくちゃ  
ものごとはよく見えない」

皆さんこんにちは。コロナ禍も少し落ち着いてきましたね。でも油断は禁物です。コロナ禍とかけまして、甲子園球場と解きます。そのところは、どちらも感染（観戦）で咳（席）が気になります。

笑っていただけましたでしょうか。これが理解していただけましたら、これらの話について行けると思います。清話会様も作っておきま

した。清話会とかけまして、満塁ホームラン2回と解きます。そのところは、どちらも8点（発展）間違いなしでしょう（笑）。

将棋の藤井八冠は凄いですね。将棋AI「水匠」の開発者が藤井八冠の強さを語っています。藤井八冠のは、どちらも感染（観戦）で咳（席）が気になります。

切る。この不思議な力を「火事場の馬鹿力」と言います。

身近な例を挙げてみましょう。野球で、球速150キロの球をなぜ打てるのか。マウンドからベースまでの距離は18・44メートルですから、球速150キロで投げれば0・44秒で着きます。球が投げられたと人の脳が意識するのには0・35秒かかります。それからバットを振るまでに0・2秒、合計0・55秒かかります。でも0・44秒で球は到達していて、実際打っているわけですから不思議ですよね。

なぜ打てるのか。「打てる、打つてやる」と思っている人」「自分で、これが限界と考えていない人」「チャレンジすることをおもしろがる人」などが打てるようです。よくインターネットの時にバッターが、「お客様の声援のお陰です」「無心で打ちました」と言っていますが、この「無心で打つ」が大事なのです。

人間には潜在意識と顕在意識があると言われます。ご存じの通り潜在意識は、気付いていなくても使えている意識で「無意識」、顕在意識と

編集責任 清話会編集部

は気付いて使うことのできる「意識」のことです。潜在意識が全体の90%に対して頭在意識は10%ぐらいと言わわれています。

「無心になる」とはどういう時かといふと、座禅・瞑想、笑い・感動した時です。その時、潜在意識にアクセスし、固定観念や古い考えを変えられることができるのです。「火事場の馬鹿力」が發揮できるのです。例えば、「ダイエットするぞ」「明日から食事制限」「運動する」と頭在意識が宣言しても、潜在意識が、「食制限…お腹が減る」「運動する…疲れる」と反発しますから、そこに大きな力（火事場の馬鹿力）がないと、その反発をなかなか打ち破れないのです。

「星の王子様」で、「肝心なことは目に見えない」と言っています。「ここで見なくちゃ、ものごとはよく見えないってことさ」人は、今見えて一生懸命争つたりしているのですが、肝心なことは見えないので、本当に大切なものの（愛情・絆・人間力・風土・笑い・感動等）を忘れているのです。

感動とは「そこまでやるか」大切な「これ面白いな」と感じる力

コロナ禍によって時代に大きな

変化がありました。まずオンラインが普及しました。それによりワークライフミックスという、仕事と生活を区別せず両方の充実を目指す概念が出てきました。それからメタバース。3D技術を用いたデジタルヒューマンやアバターも、今や色々なところで使われています。そしてもう一つは人と人の触合いが少なくなりました。コミュニケーション不足ですね。伝えたいことが伝わらなくなりました。

正解が決まつた問題を早く解くには、人工知能に任せればいいのです。これからはコミュニケーション能力や創造力が大事になつてくると思います。

#### ◆「伝える」と「伝わる」は違う。

これが大事なコミュニケーションの基本だと思います。情報は伝えている、しかし本当に伝わっているのでしょうか。「伝えるは[teɪl]」で伝わるは[com-mu-ni-keɪ-shən]です。伝わつていれば、人は行動します、今、世の中の研修で一番多いのがコミュニケーション研修です。なぜか？効果がないからです。「伝える」研修ばかりしていますから、肝心の「伝わる」研修をしないのです。

#### ◆「雑談」と「コミュニケーション」は違う。

目的がないのが雑談ですが、その代わりにひらめきがあります。雑談もたたの雑談で終わるか「気づき・閃き」があるかで、大きく違つてきます。ですからこの「気づき・閃き」が大事だと思っています。

「A-Iは雑談できない」。これからA-I時代に勝ち抜くには、A-Iができることがあります。ビントがあるように思います。

#### ◆感動とは何か？「そこまでやるか」です。

そこまでやらないと伝わらないのです。「できる限りやらせていただきます」というのはプロとして当たり前です。「できないことをやらせていただきます」という発想が大事です。できないことはできません。でもできないことに挑戦して、そこまでやるか、という姿を見て人は感動してくれるのです。

例えば上司との話で「お前がそこで言うのなら、やつてやろう。やつてみなさい」となるわけです。そこまで言わないと人は動いてくれないので、商品も、お客様が「そこまでやつてくれるなら買いましょう」ということです。今は、そこまでやらないと売れないのです。

それからディズニーランド。世界一安全で清潔な場所ということで清潔さの基準を上げています。その基準が「そこで赤ちゃんが這い這いできるか」です。ゴミを無くそう、のレベルではありません。ディズニーランドに行つたとき、全社員がうちの会社は「そこまでやるんだ」と誇りを持っています。だから楽しくてリピート客が多いのです。

森岡毅さんという方がいます。㈱刀という会社を設立し、新しいことをどんどん始めた方です。西武遊園地のリニューアルやU.S.Jの既存のジェットコースターを後ろ向きに走らせる「バックドロップ」などを手掛けました。ジェットコースターは通常前向きですか、技術的に絶対無理だと大反対されたにも関わらず、安全性を慎